

自分のめあては自分で決定



P.5-8

3つの授業を誌上公開

2教科どちらも学べる授業



P.9-12

教科リーダーが司会を進行



P.13-16

特集

個別最適な学び

——事例から得る実現のヒント

1人1台端末が整備され、進展が期待されている「個別最適な学び」。
 その実現のために必要とされる「指導の個別化」と「学習の個性化」とは何か、
 そして、子どもの学びがどのような状態であれば「個別最適な学び」なのか。
 本特集では、教科学習において、子どもが自ら調整して学びを進めていく授業を単元全体で実践している
 小学校・中学校3校の取り組みを、各1コマの授業レポートとともに紹介。
 本分野における研究・発信を続ける研究者が、3校の取り組みを踏まえて整理した
 「個別最適な学び」の実現に向けたヒントを指針に、理解を深めていく。

「協働的な学び」との関係は？



どんな状態が個別最適か？

教員は
どう支援すればよい？



学習材は
何を準備すればよい？



単元計画を立てる際のポイントは？



上智大学 奈須正裕教授が3校の事例を解説